

とく て い ひ え い り か つ ど う ほ う じ ん
特定非営利活動法人 リアライズ
リアルライフNEWS
vol.5

ね ん め と つ に ゆ う
リアライズもとうとう2年目突入～☆☆

ふ ヘルパーも増え、これからも頑張がんばっていきたいと思おもいます。
これからヨロシクお願ねがいします！！



リアライズ成人せいじんの祝いわい&送別そうべつ&歓迎会かんげいかい！！こんなに仲間ななかまが増ふえました☆(撮影きつえい: 相宅おおやくんことピンちゃん)

特集 其の1

奈々ちゃんが一人暮らしを始めました☆



こんにちは。リアライズの利用者でノープラン代表の辻田奈々子です。

みなさん、お久しぶりです☆

今回、私はリアライズの設立後初めての自立障害者(利用者)として、ここに書かせて頂くことになりました。昨年のリアライズの広報にも書かせて頂きましたが、私は以前から一人暮らしをしたいという気持ちがありました。そして、なんと今年の3月に念願の一人暮らしを実現させることができました!!ということで、今回は私が一人暮らしを思い立った理由やそれまでの経緯、实际生活をしてみての感想などを書いていけたらと思います。

一人暮らしへの思い

最初に、私が一人暮らしを思い立った理由について、お話ししていきたいと思います。私は、今からちょうど2年前に大学に入学しました。入学当初から、実家の熊取町から大学のある和泉市まで、母親の車で往復1時間ほどかけて通っていました。行きはいつも授業に間に合うように登校し、授業が終わるまでは母は大学内やその周辺で待機、授業が終われば母と一緒に帰るといった日々を過ごしていました。始めの頃は、そうした仕方で順調に通学ができていました。ところが、入学から2・3ヶ月が経ち、大学生活に慣れ始めてきた頃、少し不都合が出てきました。私はその頃から徐々に課外活動に取り組んだり、友達や先輩との時間を大切するようになりました。しかし、母による通学はいつも

帰宅時間等が決まっており、それらに費やす余裕はありませんでした。それどころか、休日に何か予定を入れているときも、家族の都合によって断念しなければならないこともありました。また、母も毎日1時間掛けての通学に徐々に疲れを感じ、授業が終わるまで自分の時間を過ごせないことにも不満を抱くようになりました。私が高校生の頃は、通学範囲が今より狭く、友達との外出の範囲も限られていたため、このような悩みはあまりありませんでした。しかし、大学に入学し、一気に活動の範囲が広がったことで、好きな時に好きな場所へ出掛けられる、そんな生活を望むようになっていました。また同時にそうした生活は、家族の介助の下では厳しいと感じました。それが、一人暮らしをしたいという大きな要因になったのです。

つぎ だいがく にゅうがく しょうがい ひと で あ ふ
次に、大学に入 学し、障 害のある人との出会いが増
えたことも大きなきっかけでした。私 は、大学で社会
福祉について学んでいるのですが、授 業 や課外活動で
障 害のある人たちの暮らしを知ることが多くありまし
た。中でも、三井さんや川本さんのような地域で自立した
生活をしている人は、私 にとって強い刺激となっていまし
た。それまで 私 は、家族による介 助しか経験がなかった
ため、実家を離れて生活をするなど以てのほかと思って
いました。しかし、自分らしい生活を望む一方で、家族に
介 助をしてもらうことに申し訳なさを感じるようにもなって
いました。先に書いた通学についてもそうですが、日々の
身体介 助や身の回りの手伝いなども、家族が年齢を重
ねるにつれ、徐々に厳しいものになっていました。介 助を
してくれる家族を見て、疲労や体 力の限界を感じることは、
介 助をしてもらう 私 にとっても辛いものがありました。
また、もし家族が 急に病気になる…とか、親亡き後
の生活を想像したときに、その当時では施設に入 所す
ることしか 考 え付かなかったため、漠然とした不安を抱
いていたのも事実です。けれども、大学で障 害のある方
の地域での生活ぶりやヘルパーさんの存在を知ったこと、
そして実際に生活をされている三井さんや川本さんと
出会えたことで、そのような不安は少しずつ無くなっていき
ました。それと同時に、将 来のために一人暮らしをしたい
と思うようになったのです。

いじょう わたし ひとりぐ けつい よういん つぎ
以上が、私 が一人暮らしを決意した要因でした。次に、
ひとりぐ けいい はなし
一人暮らしをするまでの経緯について、お 話 をしていきた
いと思います。

ひとりぐ だいいっぽ 一人暮らしへの第一歩

まず、一人暮らしをするためにしておかなければならな

いこととして、三井さんから言われたことがいくつかありまし
た。その中で 私 が特に苦労したことを挙げたいと思いま
す。

1つめは、ヘルパーを上手に使えるようになることでした。
わたし じゅうどほうもん つか はじ きょねん
私 が重度訪問のヘルパーを使い始めたのは、去年の
6月でした。当時から、リアライズは当事者主体の介 助を
たいせつ していることを三井さんから聞いており、ヘルパー
には当事者からの指示を基にして、自分がしたい動きを代
わりにしてもらうということを教わりました。また、そのため
には当事者自身が細かい指示をしなければならないことも
おし 教えてもらっていました。わたし は、この指示をするということ
になかなか慣れないでいたのです。それまで 私 は、ガイド
ヘルパーしか利用したことがなく、身体介 助などはしても
らう機会がありませんでした。そのため、移乗一つを取っ
ても、動作や注意 点など一つ一つを言葉で伝える必要
があることをその時初めて知ったのです。自分がそれまで
いかに受け身な介 助をもらっていたかに気付いたとき
は、何とも惨めな気持ちでした。さらに、より 難 しさを感じ
たのが家事援助でした。実は、掃除や洗濯、調理など
か じ い わたし まった けいけん
家事と言われるものをそれまで 私 は 全く経験をしたこと
がなかったのです。なぜかと言うと、例えば調理であれば、
だいどころ せま りゆう てつだ ようす み
台 所 が狭いからという理由で、手伝ったり様子を見させ
てもらうことができませんでした。洗濯についても、ベラン
ダが2階にあり上れなかったため、衣類の干し方や畳み
かた し いえ なか
方を知ることができませんでした。こうした家の中での
ぶつりてき しぜん わたし か じ けいけん うば
物理的なバリアが、自然と私 から家事の経験を奪ってい
たのです。なので、ヘルパーと初めて料理を作ったり、
か じ をするときには、あたふたしてしまい、指示を上手くでき
ない 状 態 でした。しかし、家の中での介 助やピア大阪で
の自立体験を繰り返していくうちに、徐々に家事にも慣れ

ていくことができたのです。

2つめは、様々な自己管理を上手くなることでした。これまで家族と暮らし、家族の介助によって生活をしてきた私は、時間に拘束されたり、自分の思った通りの生活を送れずにいました。しかし、一方で家族が介助をしているからこそ、自分自身がしなくても良いことが多くありました。例えば、行きたい場所への道程や交通機関の時刻を調べるなど、私は全くと言って良い程したことがありませんでした。けれども、家族の介助から離れた生活では、時間管理や予定管理といったことは全て自分で行っていかなければなりません。なので、それらのことに慣れるために、ヘルパーと一緒にたくさんの外出をしていくことにしました。帰宅がヘルパーの支援終了時間に間に合わず、結局家族に迎えに来てもらったり、遅刻や長時間道に迷うなど失敗も多くありました。けれども、地元の駅員さんと仲良くなれたり、通りすがりの人に介助をお願いできるようになれたり、より外出に積極的になる良い期間となりました。

3つめに苦勞をしたことと言えば、何と言っても介助者を見つけることでした。一人暮らしをするためには、それまでよりもさらに多くのヘルパーが必要でした。リアライズでは、介助において当事者主体が重要なと同様に、介助者を見つけることにも当事者が主体となることが大切だと聞いていました。なので、そのお話を聞いて以来、私は介助をしてくれる人を探すのに日々奔走していました。自分の人脈から探していくのが最も早いのではと思った私は、自分が所属するサークルのメンバーや同じ学科の友達、親友と呼べる子などあらゆる子に声を掛けていました。また、授業で前に立ち募集を呼び掛けるなど、様々な方法でみんなに知ってもらおうと必死でした。しか

し、興味を持ってくれる人が大半ではありましたが、既にアルバイトや別の介助をしている人が多く、結果難しいとお返事ばかりをもらっていました。私は、「なぜ誰もなってくれないのか…」や「無償のボランティアではないのになぜ…」などと自暴自棄になってしまうこともありました。また、春の一人暮らしまでに本当に間に合うのかなど、不安で仕方がない時もありました。けれども、その中で色々な意見とも出会うことができました。例えばある子は、友達か介助者になると、介助の時とそうではない時とが区別できなくなると本音を言ってくれたり、また別の子は「ななちゃんとは友達なので、介助はお金をもらってすることではない」と話してくれたりしました。私は、これらの意見に励まされたり、肩の力を抜くことができたりました。こうして介助者探しはともしんどいことではありましたが、今振り返ってみればたくさんの人の意見や価値観と出会う良い機会であつたと思います。そして、実際に介助者になってくれる人も何人か見つけることができ、安心して一人暮らしに臨めるようになりました。

以上が、私が一人暮らしをするまでに大変だったことでした。

ついに自立！！

では、いよいよ実際に一人暮らしをしてからのことについてお話ししていこうと思います。まず、引っ越しをしてから今まで約2カ月が経つのですが、毎日が充実しているためか、あつという間の2カ月間だったように思います。引っ越し



しの当日にはリアライズの人たちがたくさん手伝いに来て下さいました。実家で持ってきたようなものは持って来て、

か だ すく おも わたし どうじつ にもつはこ
買い出しは少なめにと 思った 私 は、当日の荷物運びが
とても不安だったのですが、リアライズのメンバーに 車 を
出してもらうなどして、何とか荷物を運び出すことができました。
カーテンを取り付けたり、家具を組み立てたりなどは
男 の人にやってもらい、みんなで役割分担をしてもらい
ながら賑やかな初日を過ごすことができました。引っ越し
後はと言うと、最初の訪問客は川本さんでした。ビール
を持ってお祝いに来て下さり、引っ越しをしてみての感想
を聞いてもらいました。その後は三井さんが N H K のカ
メラと共に相談に来て下さいました。今の生活の悩みや
困っている点などを聞いてもらったのですが、こちらの様子
はもしかしたらテレビでご覧になれるかと思います(笑)!!

先日には、私 と 私 のヘルパーさん6人とで引っ越し
パーティーを開きました。恋愛トークで盛り上がり、
介助時とはまた違ったヘルパーさんの新たな一面が見れ
たりと、とても楽しい時間を過ごせました。ということで、
毎日賑やかに過ごしているのですが、特に大きな変化と
してあるのは、友達と放課後や休日 に時間を気にせず
に会えることです。これまでの暮らしではできなかったこと
ですが、今では授業が終わると一緒に外食をしたり、
家に呼んで料理を作ったり、逆に作ってもらったりしてい
ます。電話についても、実家にいるときは自分の好きな
時間・場所ではできなかったのですが、今では気兼ねなく
自分からすることが可能です。このように、一人暮らしをす
ることで友達と過ごす時間が増え、パーティーの開催など
自分発信で周りの人たちと楽しむことができるようになった
のは、私にとって一番のメリットであると感じています。
未だに慣れない点としては、先に書いたような自己管理や
家事援助についてです。料理やその他の家事について
は、日々上達しているのではと自分では勝手に思ってい

るのですが、ヘルパーがほぼ24時間入って下さることもあ
ってか、指示が雑になっているのではと少し感じています。
これからは、自分らしいスタイルを守りつつも、しかし無理
をしない程度に支援をしてもらえるよう頑張ろうと思います。
さて、最後になりましたが、一人暮らしをすることに関して、
普通は家族から反対をされ、それを説得させることが
準備の中で最も大変であると聞いていました。しかし、
私 の場合、家族から反対の声 が 全く出なかったのです。
これには私自身とても驚かされました。引っ越しの2カ月
前にもう一度尋ねたときには、母から「そのために今まで
頑張ってきたんやろ?」と言ってもらえました。まるで、これ
までの頑張りをずっと見てきてもらえたみたいで、胸がいっ
ぱいになりました。一人暮らし生活、まだまだ始まったば
かりですが、たくさんのヘルパーさん、そしてリアライズの
皆さんにお世話になりながら、充実させていこうと思っ
ています。そして、今まで家族から介助をもらってきた分、
楽をしてもらうと共に今度は自分から家族に何かできるよ
うにしていければと思います。みなさん今後ともよろしくお
願いします m(_ _)m



(2009 年 4 月 25 日 作成)

新しいリアライズファミリー★紹介します！

3月より新しいスタッフが2名増えました！
新しい体制になってますます元気にがんばりますので
応援よろしくお願いします！！



にし の ゆずる
西野 譲 — NISHINO YUZURU

じりつせいかつ
自立生活センター・リアライズ 事務局長

ねんれい さい / しょうがい こつけいせいふぜんしょう
年齢: 31 歳 / 障害: 骨形成不全症

はじめまして、3月からリアライズの当事者スタッフになりました西野 譲 です。

リアライズネームは「トーマス」です！

生まれは泉大津近くの堺市、骨形成不全症の男です。大阪の南部地域は、まだまだ障害者が暮らしやすい地域とはいえません。リアライズの活動で障害者も健全者もみんなが暮らしやすい地域にどんどん変えていきたいです！どうぞよろしくお願いします。

※なぜトーマスなのか、それを知りたい方はぜひリアライズに来て笑ってください♪

みやもと ゆき こ
宮元 有規子 — MIYAMOTO YUKIKO

じりつせいかつ
自立生活センター・リアライズ コーディネーター

ねんれい さい
年齢: 29 歳



はじめまして、この度リアライズでコーディネーターをさせて頂くことになりました。宮元 有規子と申します。私は、リアライズに来る前は、知的障害者施設で5年程支援員をしていました。CIL(自立生活センター)は初めてですが、重度障害があっても今施設で暮らしている方も、誰もが、自分らしくこの町で暮らせるよう、微力ながらお手伝いできたらと思います。プラス私自身も、精神的に自立した、大人の女性になれるよう私らしくがんばりますので、よろしくお願い致します。

リアルイズを卒業したメンバー

このたび、リアルイズヘルパーの3人が大学を卒業し、社会人として旅立つこととなりました。リアルイズ立ち上げからいっしょに活動していたメンバーだけにとてもさみしいですが、リアルイズで得たことを自分たちのフィールドで広げていってほしいと思います。卒業おめでとう！



なまえ さかい みちえ
名前：酒井 美智恵(みっちゃん)

リアルイズのヘルパーをさせていただいて学んだことは忍耐、そしてどんなことでも利用者の方のバックボーンを常に考えること、そして出会った仲間とことん大切にすること。

ヘルパーの仕事は本当に忍耐が必要だと思います。時間の使い方などを利用者の方の考えに合わせる事が仕事だからです。自分の考えは、ぐっとこらえて利用者の方の考えに合わせる。簡単なようで難しいです。

次にどんなことでも利用者の方のバックボーンを考えたことが大事だと教わりました。やはり利用者の方は今までの人生の中でいろんな経験を私たち以上に奪われてきたからです。そのことを考えずに利用者の方の行動を判断するのではなく利用者の方が過ごしてきた人生を考える。こう考えることで見えてくることがあると思います。

最後に、出会った仲間を本当に大切にすることを学びました。リアルイズで働いておられる職員の方々がヘルパーや利用者の方々に愛情をもって接し、大切にしておられる姿をみてきました。そんな姿や実際に自分が大切にさせていただいたことを感じて私も仲間を大切にしていきたいと思いました。

短い間でしたが本当にたくさんのことを学びました。そしてリアルイズでヘルパーとして働けて本当によかったです。ありがとうございました。

なまえ あかざわ こと み
名前: 赤澤 琴美(まめちゃん)



がつ ぶ じ ねん ももやまがくいんだいがく そつぎょう
3月に無事に4年で桃山学院大学を卒業できました!

リアライズでは立ち上げの際から関わらせていただき、たくさん勉強させていただきました。本当にリアライズメンバーは、居心地が良くて、(生意気ですが)

きょうだいしまい よう そんざい じむしょ ちか い びた わらい ころろ そこ おも
兄弟姉妹の様な存在で、事務所が近ければ、もっと入り浸りたかったな…(笑)と、心の底から思っていました。

けつきよく わたし こうれいしゃぶんや しゅうしょく ゆめ かな す
結局、私は高齢者分野に就職(夢が叶いました!)したのですが、リアライズメンバーと過ごした時間や経験を生かして、頑張りたいと思います!

じむしょ あそ い あたた むか くだ わらい
事務所に遊びに行きますので、温かく迎えて下さいね(笑)



なまえ おおやひであき
名前: 相宅秀晃(ピンちゃん)

はいけい みなさま
拝啓リアライズの皆様

ももやまがくいんだいがく そつぎょう そつぎょう はや かげつ た
桃山学院大学を卒業し、リアライズも卒業して、早いもので1ヶ月が経ちます。

みなさま げんき ぼく げんき たいへんげんき
皆様お元気でしょうか?? 僕は元気です。はい、大変元気です☆

リアライズで過ごした時間はとても濃く、派手で、楽しい時間でした。ん?? 何がって?? それは、いわずとしれた、はじけた職員の方々が僕たちを優しく、厳しく、楽しく遊んでくれたからです☆その中でも思い出に残ったのは、浜寺公園でのBBQ ぢゃないですかね。あんなに大胆に遊んだのは久しぶりでしたよ。ハチャメチャな遊びに一緒に付き合ってくれる。それが、リアライズの職員さんですね。もちろん、仕事も本気でやっていたと思われれます…。うん、思われれます。

いま ぼく あたら かんきょう おどろ れんぞく べんきょう
今の僕は、新しい環境で、驚きの連続、また勉強することがたくさんです。いつものようにおとなしく仕事に励んでいますへ(´ー`)ノ

また、リアライズにお邪魔します。邪魔しに行きます。 それでは、皆さんお元気で

2. 厚生労働省前抗議行動&交渉報告

2009年2月2日に厚生労働省に約350人もの仲間が集まり
障害者自立支援法の一からの出直しや抜本的見直しが先送りさ
れたことに対し、どんな障害があっても地域で暮らしていけるような
制度にしていくための交渉を厚生労働省で行いました。



まず D P I 日本会議・全国自立生活センター協議会、全国
障害者介護保障協議会・全国公的介護保障要求者組合、

ピープルファーストジャパン・全国ピアサポートネットワークと、それぞれ呼びかけ団体から挨拶がありました。

午後2時に交渉団を送り出し、マイクアピールを開始しました。今回僕が初めてマイクアピールの司会をしました。

初めの方は、ものすごく緊張し汗が止まりませんでしたが、シュプレヒコールを上げ、各団体の人たちの熱い言葉



で現状を訴えている姿を見たり、聞いたりしているうちに緊張も忘れ、
共に闘っていました。途中、2回ほど交渉団の代表者から中間報告が
あり、より一層マイクアピールを盛り上げました。その後、予定の時間より少し
の延びて交渉が終わり、交渉団より「今後とも継続して交渉していく」という
旨の報告があり、抗議行動を終えました。

僕は力尽きましたが改めて仲間が集まって行動をすることの大切さを実感した1日でした。

厚生労働省と交渉団が話し合った内容は主に以下の通りです。

■ 障害の範囲、障害程度区分について

障害者自立支援法では障害者手帳を持っていないと、サービスを利用できないため、発達障害や高次脳機能
障害、難病等の人が障害者自立支援法のサービスを利用できるように要望をしました。その結果、障害の
範囲の検討は今までほとんど行われておらず今後継続して協議をしていくことになりました。

■ 相談支援について

今回の交渉では特にケアマネジメントについて話し合われました。その結果セルフマネジメントや当事者が
複数利用できる仕組みができるかなど具体的なことは何も決まっていなかったとのことでした。

■地域移行における体験宿泊等のホームヘルプ利用について

これまで入所施設利用者が地域移行する過程でケアホームやグループホームだけではなく、自立生活体験室などでも自立体験ができるように要望をしました。

その結果、自立体験室などでのホームヘルプ利用については継続して協議していくことになりました。

■知的、精神障害者の重度訪問介護利用について

知的障害者や精神障害者は、居宅内での介助は家事援助しか認められておらず、長時間必要な人に対して重度訪問介護を受けれるように要望しました。

その結果、厚生労働省の回答は今後、継続して協議をいくことになりました。

■介護報酬単価について

重度訪問介護の報酬単価は身体介護と比べても、非常に低い設定になっているため人材確保をすることが非常に困難となっているため報酬単価の改善を要望しました。特に、平成21年度から新設される特定事業所加算について話し合われました。その結果、障害者の居宅介護や重度訪問介護は介護保険と同様の基準で特定事業所加算を適用することは難しいことを伝え、厚生労働省は3月12日の課長主管会議において報酬単価を示すことになりました。

■重度訪問介護の利用促進に関わる市町村生活支援事業について

重度訪問介護の利用促進に関わる市町村生活支援事業については政令指定都市や中核都市が事業の対象外となっている問題について話し合われました。その結果、都道府県が対象とする判断された場合は国として認めるように求めました。今後継続的に交渉していくことになりました。

■地域生活支援事業について

地域生活支援事業の中で移動支援が、特に地域格差が広がっていることや市町村によって通学や通勤の移動に制限をかけられていることについて交渉が行われました。その結果、通学などで移動支援が使える市町村の事例を挙げるなどをして市町村が制限をしないように要望しました。

■精神障害者施策について

医療観察法を廃止し、退院促進の方向に予算をつけるとともに、地域移行を進めていくように要望しました。また、「精神障害者退院支援施設」についても制度廃止の要望をしました。

■交渉を通して

こんなにも問題が山積みになっているにも関わらず、なお障害者自立支援法に固執しているように見えます。これからもアライズとして他団体と連携を取り、どんな障害があっても地域で生活をしていけるような制度を目指して頑張りたいと思います。

とく しゅう そ 特集 其の2

あば ぼうしょうく ん だい だん
暴れん坊将Kunプロデュース第5弾☆

た か い し え き じょうほう 高石駅バリアフリー情報！！

こんにちは、^{あば ぼうしょうく ん かのもと}暴れん坊 将Kunこと川本です。^{こんかい みな やくだ}今回も皆さんにお役立てすることが出来る情 報をお伝えしていきたいとおもいます。

^{こんかい なんかいほんせんきたすけまつえき えき ほうめん すす}今回は、南海本線北助松駅から1駅なんば方面に進んだところにある、^{なんかいほんせんたかいしえき しょうかい おも}南海本線高石駅を紹介したいと思います。



^{たかいしえき にかい かいさつかい いっかい かい ちじょうかい かいさつかい}高石駅は、二階に改札階、一階にホーム階があり、地上 階から改札階ま

ではエレベーターが設置されていますが、^{かいさつかい かい かいだん くるま しょうしゃ りよう}改札階からホーム階までは階段しかなく 車 いす使用者が利用する場合は、^{ばあい えきいん かつ じょうこう ほうほう}駅員が担ぐしか乗 降する方法がありません。

また、^{えき くるま たいおう えき と ほ ふん ちいきみつちやくかた なか}駅に 車 いす対応トイレはなく、駅から徒歩3分ぐらいところに地域密着型のショッピングモールの中にある 車 いす対応トイレを利用するしかありません。それでは今回も駅の問題点や今後の課題などを解説していきたいと思います。

かいさつしゅうへん ■改札周辺

①券売機です。^{けんばいき きたすけ}北助まつえき まつのはまえき どう松駅や松ノ浜駅と同様にボタンの位置が^{たか}高いため車 いす利用者はボタンが押しにくいとおもいます。



②路線図です。^{ろせんず きたすけまつえき まつ}北助松駅や松のはまえき どうよう えきめいノ浜駅と同様に駅名にはふりがなが打たれていません。そのため、^{ちてきしょうがい ひと こ}知的 障 害の人や子どもには読みづらいとおもいます。



^{の こ せいさん き}乗り越し精算機です。^{てんじ}点字ブロックでの誘導がないため、^{しかくしょうがい ひと つか}視覚 障 害の人は使いにくいとおもいます。

こうもく 項目	なんば・和歌山 両 方面 わ か やまりょうほうめん
① ^{けんばいき} 券売機のボタンの ^{てんじ} 点字	あり
^{ゆか けんばいき たかさ} 床から券売機までの高さ	75.5 ^{センチ} cm
② ^{ろせんず} 路線図のフリガナ	無し
^{てんじょううんちんひょう べつとせつち} 点字用運賃表 (別途設置)	あり
インターホン	無し
^{くるま たいおうじどうかいさつき} 車 いす対応自動改札機	1 ^{きあ} 機あり
^{てんじ しょうごう しょうごう} 点字ブロック・誘導ブロック (色)	あり (きいろ 黄色)

しゅうへん
■エレベーター周辺

こうもく 項目		ち じょうかい かいさつかい 地上階～改札階
エレベーター	③ 扉の幅	79 cm
	ひろ 広さ	153 cm × 105.5 cm
	ていいうすう 定員数	9名
	④ ボタン（外）	たか 高さ110 cm / 凹凸有り
	ボタン（内）	たか 高さ94 cm / 凹凸有り
	かいえんちよう 開延長ボタン	なし
	でんこうけいじばん 電光掲示板	あり
おんせいあんない 音声案内		なし
てんじ 点字ブロック・誘導ブロックの敷設		あり
てんじ 点字ブロックの色		きいろ 黄色



③ 通り抜け型のエレベーターです。狭いために車いすやストレッチャーでは乗りづらいです。



でんどうくるま 電動車いすを担いで、階段を移動して
いるところ。改札階からホーム階までは階段しか移動手段はありません。



④ エレベーターの呼び出しボタンです。凹凸が少しありますが、視覚障害の人にとってはボタンの位置が分かりにくいと思います。

しゅうへん
■ホーム周辺

こうもく 項目	わかやま 和歌山・なんば方面共に
ホーム柵・ホームドア	なし
⑤ スロープ板	あり
てんじ 点字ブロック・	いちぶ 一部あり
ゆうどう 誘導ブロックの敷設	※ 一番後ろのドアにしか誘導されていない
てんじ 点字ブロックの色	きいろ 黄色



⑤ 電車から降りている時の写真です。南海本線の他の駅と比べても電車の車高がホームより高いため、車いすなどでスロープ板を使って乗下車をするのが危険だと思います。

たかいしえき ちょうさ かんそう
■高石駅を調査してみたの感想

これまで3回にわたって調査をしてきましたが、やはりどの駅も同じで誰もが使いやすい駅にはなっていないませんでした。特に今回調査をした高石駅は駅構内に車いす対応トイレがなく、また、ホームから改札までの移動手段は階段しかない状況です。

高石駅は現在駅を高架にするための工事を
行っているところで、完成時期については当初の
計画では平成21年に完成する予定でしたが用地
買収に難航しているため、遅ければ当初の完成
時期よりも10年は遅れるそうです。

この間、車いす対応トイレやエレベーター・エ
スカレーターなどの設備を現在利用している駅舎



で増設する予定は無いため、今後の新駅舎になるまでの間、車いすやベビーカー利用者などが最低限駅
を円滑に利用できるように南海電鉄と共に考えていかなければなりません。

また誰もが利用できる駅にしていくなかにはやはり、駅を利用しにくい人たちが声を上げていくことが
大切だと思っています。そのために今年度から障大連交通部会でまず情報を共有していきたいと
思います。これからは少しでも皆さんのお役立て出来る情報を配信していきたいと思っています。

じかいよこく
■次回予告！

「南海線沿線の全駅調査」に向けて、泉大津駅から北上し
ているこの企画、現在まで泉大津駅～高石駅の4駅を調査しま
したが全駅制覇にはまだまだ道のりは遠いです。（南海線沿線
の駅数：41駅）これからもひと駅ずつ地道に進めていきたい
と思っていますので応援よろしくお願いします。

次回は、羽衣駅のチェックに向かいます！羽衣駅は、
泉大津駅の次に急行が停車する駅で、JR東羽衣駅と乗り継ぎ
も可能な駅です。次回は羽衣駅と、番外編としてJR東羽衣駅
も一緒に調査したいと思いますので楽しみに！



なんかいせんえんせん いずみおおつ ぼく
南海線沿線(泉大津以北)



もくじ
目次

- 特集1 奈々ちゃんが一人暮らしを始めました☆(P.2-5)
- リアライズヘルパー紹介 (P.6-7)
- リアライズ新スタッフ紹介 (P.8)
- リアライズを卒業したメンバー (P.9-10)
- 2.2厚生労働省前抗議行動&交渉報告(P.11-12)
- 特集2 暴れん坊将Kun プロデュース第5弾(P.13-15)
- もくじ・編集後記

へんしゅうこうき
編集後記

皆さん、いかがお過ごしでしょうか？僕は3月に正式にリアライズのスタッフとして活動し始めました。通信の方は相変わらず皆さんが読みやすい内容にすべく日夜精進しています。また、その他の役割も増え忙しいけれども充実した毎日を過ごしています。これからも皆さんに少しでもお役立てできる情報を発信していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。
(By 川本)

今回から編集に参加しました新編集員「と一ます」です。楽しく読んでもらえる通信にできるようがんばります！が、、、編集って難しいですね。それでも、今までの内容に負けない内容にしたいと思ってますのでどうぞご期待ください。最近、自分自身は怪我ばかりしてまして全然ツいてませんが、話のネタが増えたと思って喜んでます。どんなネタが知りたい方はぜひリアライズにお越しください。もしみなさんのまわりで面白いネタがあればぜひ教えてください！
(By と一ます)

へんしゅうにん
《編集人》

とくてい ひ えいり かつどうほうじん
特定非営利活動法人 リアライズ

〒595-0071 大阪府泉大津市助松町1-3-33エクセラート北助松1階 店舗4

TEL : 0725-22-7716 / FAX : 0725-22-7746

URL : <http://www012.upp.so-net.ne.jp/Realize/>

ていか えん
定価 : 100円